

議席番号6番，飯田進君。

〔6番 飯田 進君登壇〕

○6番（飯田 進君） 皆さん，こんにちは。傍聴にお越しの方におかれましては，大変お忙しい中ご苦労さまでございます。議席番号6番，飯田進。議長の発言の許可をいただきましたので，これより通告に従いまして一般質問を行わせていただきます。

まず初めに，昨年9月に発生しました関東・東北豪雨から，ちょうど1年がたとうとしています。ここに改めて，亡くなられました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに，被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。また，本年4月16日に発生した九州の熊本地震，さらにここに来ての台風9号，10号，11号，12号，特に北海道，東北地方につきましては甚大な被害が発生いたしました。重ねてお見舞い申し上げますとともに，一刻も早く復旧復興されるようお祈り申し上げます次第です。

さて，橋本町政も2年半になりますが，その間，特にふるさと納税の驚異的な収入の増大，まさに時代を先取りしたとも言える新たな発想によります太陽光の売電収入，積極的かつ大胆な各種補助金等の獲得など収益面での大幅な拡大の一方で，町民のための新規事業の立ち上げや既存事業の拡大にも積極的に取り組まれ，町政発展，町民福祉の向上に大変な勢いとスピード感を持って取り組んでこられ，そして着実に成果を出してこられたこと，また昨年の豪雨災害時の手際のよい，的確な災害対応で町民の安心と信頼を得るなど，実に目を見張るものがあり，高く評価されるべきものではないかと私は思うところでございます。今後も，なお一層町のため，町民のための行政に取り組んでいただくことを期待いたしまして，一般質問のほうに移らせていただきたいと思います。私からは2項目ほど質問させていただきます。

まず，1項目め，財政状況についてということで，財政健全化判断比率について，将来負担比率・公債比率等の現状及び今後の見通しについての答弁をお願いいたします。町長も行政報告会等の折につけて，この件について改善の状況にあるということの説明報告されておられるようですが，住民の中には「境町は県で一番借金が多いんだって」とか，「町の財政は借金が多くて危機的な状況にあるんだって」とか言って，いまだに現状を十分理解されていない方もおられるようです。県でワースト1位というイメージが強く影響しているのかなと思います，改めてこの一般質問の場で詳しく説明していただきたく質問させていただきます。

また，2項目め，土地開発公社経営支援補助について，町からの利子補給について答弁願います。土地開発公社につきましては，その所有する土地を町が段階的に買い戻して借入金の返済に充てるということで，結果的には町が公社の借金を肩がわりすることになるかと思いますが，先ほどの1項目めの町の財政状況にも関係してくると思われしますので，質問させていただきます。

以上，2項目につきまして執行部の誠意ある答弁をお願いいたします。

○議長（倉持 功君） それでは最初に，町の財政状況についての質問に対する答弁を求め

ます。

理事兼企画経営課長。

[理事兼企画経営課長 島根行雄君登壇]

○理事兼企画経営課長（島根行雄君） それでは、私から、飯田議員の1項目め、町の財政状況についての財政健全化判断比率について、将来負担比率・公債費比率等の現状及び今後の見通しについてとのご質問にお答えをいたします。

地方公共団体の健全化を目的とした地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率につきましては、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標から構成をされ、それぞれに早期健全化基準、いわゆるイエローカードと財政再生基準、いわゆるレッドカードが設定をされております。そして、この基準を超える団体には、指標の公表とあわせて早期健全化計画、財政再生計画、経営健全化計画の策定が義務づけられております。

将来負担比率、公債費比率の状況については、将来負担比率は前年度より19.1%減の152.4%、実質公債費比率は0.4%減の15.7%となっております。また、近隣市町村の将来負担比率を申し上げますと、古河市93.1%、坂東市64.6%、八千代町61.9%、五霞町15.7%となっております。

今後の見通しについてであります。将来負担比率につきましては、平成25年度の184.1%から平成26、27年度の2年間で31.7%と大幅な改善が図られたところであります。この要因につきましては、10年以上ふえ続けた借金が2年連続で総額7億8,000万円の削減、町の貯金である財政調整基金なども2年連続して積み増しし、7億円程度であった貯金も11億円までにふやすことができたことにあります。また、平成28年度の将来負担比率につきましても引き続き減少し、140%台と見込んでおります。今後もより一層の財政健全化に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

飯田進君。

○6番（飯田 進君） 答弁をいただき、大変ありがとうございました。大変厳しい財政状況の中で、短期間でこれだけ大幅に改善された橋本町長のかじ取りに対し、改めて敬意を表したいと思います。

それでは、再質問をしたいと思います。大幅に改善された要因について、具体的な数字に基づいて説明をお願いしたいと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

理事兼企画経営課長。

○理事兼企画経営課長（島根行雄君） それでは、飯田議員さんの再質問にお答えをいたします。

改善された具体的な数字についてであります。先ほど答弁で申し上げました、借金が2

年連続で総額7億8,000万円の削減。内訳を申し上げますと、平成26年度が4億6,000万円の削減、平成27年度が3億2,000万円の削減でございます。

また、財政調整基金なども2年連続で積み増しし、7億円程度から11億円までにふえた件がありますが、内訳を申し上げますと、平成26年度が財政調整基金に1,300万円、ふるさとづくり基金に1,500万円、平成27年度が財政調整基金に3,900万円、ふるさとづくり基金に3億1,000万円、茨城さかいソーラー株式会社の売電収入800万円であります。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

飯田進君。

○6番（飯田 進君） 具体的な数字の答弁ありがとうございました。

健全な財政的な裏づけがあってこそ、初めて住民への行政サービスが、良質で十分なものが提供できるものではないかと思えます。財政の健全化は大変に重要なことと思えます。財政の健全化を進める一方で、住民福祉の向上も図るということは、まさに両立させることは大変困難であるかと思えますが、さらに健全化に進めていただきたいと思えます。近隣市町村と比較しますと、まだまだ将来負担比率は高目ということでもありますので、引き続き財政の健全化に努めていただくようお願いいたします。

町長、ご答弁いただければ。よろしく。

○議長（倉持 功君） 町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、飯田議員さんのご質問にお答えをさせていただきたいと思えます。

本当に境町の借金の比率、これは突出していたということが言えると思えます。まだ15%ということでもありますので、これでもまだまだ、本当に北関東でも一番悪いという数字でもありますので、引き続き鋭意努力をさせていただきたいというふうに思っております。ちょうど五霞町なんか、先ほど15.何%と言っていましたけれども、それだけ違いますので、非常に厳しい状況だというのはわかると思えます。

そして、もう一つ今回ちょっと補足をさせていただくと、先ほどふるさと納税の基金が随分あがったという話がありましたけれども、そのほかに例えば平成26年度で言うと、地方創生の先行型の交付金、こちらを6,978万円ほどとることができました。そして、例えば食肉処理場の売却代金、そういうものが800万円入ってきたりもしました。さらには、入湯税などもちょうど御老公の湯さんができましたので、皆さんと協議して導入させていただきましたけれども、そちらの収入も上がってまいりました。

そして、削減のほうも、本当に細かいところからでありますけれども、小中学校のを温水プールにしたことによって500万円ぐらい安くなったりとか、電算関係も4,000万円ほど安くなったりしました。そして、27年度もあわせていろいろな、ちょうど文化村のリノベーションで2,500万円いただいたりとかさまざま、サッカー場の補助金で6,700万いただいたりとか、やはり補助金の獲得をすることによって随分変わっていくというのがわかっていた

だけたかなというふうに思っております。

本当に自民党にまた政権がかわりまして、アベノミクスという話がありました。実際に実感する家庭環境の中では、まだまだ豊かではないし、やはりデフレも続いているのではないかというようなところでありますけれども、地方自治体としては、やったところとやらないところの自治体の差というのが非常に大きくなってしまっていて、我々もやはりこういう状況の中だと逆にチャンスが多くありまして、しっかりとした政策をつくって、しっかりとした計画をつくって国に持って行って、それを認めてもらえれば補助金を出していただけるというような、この仕組みの中で非常に財政が改善できたのではないかなというふうに思っておりますので、職員の皆さんも本当に時間外が賄い切れないほど出てはいるところでありますけれども、それぐらい本当に頑張ってください、国の補助金、県の補助金を獲得していただいている成果が今出ているのではないかなというふうに思っておりますので、28年度も引き続きさまざまな補助金をとってまいりたい。そして、ふるさと納税などもしっかりと獲得できるように推進をしてまいりたい。

そして、やはり経費の削減。今年度は電気を、自由化になったことによりまして、同じ東京電力なのですけれども、年間500万円ほど安くなるような契約もさせていただいたところでもありますので、そういうところをしっかりとやっていくことによって、数字が例えば100万円とか小さくても、5年たつとそれは500万円になりますので、今回500万円が二、三年たつだけでも1,500万とかになりますので、そういう小さいところからこつこつ積み上げていくのが、こういう財政健全化にはかなり重要なことではないのかなというふうに思っておりますので、引き続き、議員さんご指摘のとおり、しっかりとした行財政運営に努めてまいりたいというふうに思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

飯田進君。

○6番（飯田 進君） 町長の大変力強い決意のもと、大変希望の持てる見通しということで、ご答弁いただきありがとうございます。この件に関しては以上で質問を終わらせていただきます。

○議長（倉持 功君） これで町の財政状況についての質問を終わります。

次に、土地開発公社経営支援補助についての質問に対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長 佐藤友久君登壇〕

○総務部長（佐藤友久君） 改めまして、こんにちは。飯田議員の2項目め、土地開発公社経営支援補助についての町からの利子補給についてとのご質問にお答えいたします。

境町土地開発公社は、町の委託に基づき、公共用地の先行取得や都市計画道路等の用地取得に伴う代替地取得事業を行い、公共事業の円滑な推進に寄与してまいりました。しかしながら、バブル期以降の地価の下落や土地取得のための多額の借入金の利子負担などにより、公社の経営が大変厳しい状況となったことから、町は平成18年度から、経営支援補助金とし

て借入金の支払い利息分を交付してきたところでございます。

このたび公社では、8月31日付で借入金の借りかえを行いました。これまでの契約では、年利率2.1%、年約335万円の利息を金融機関に支払うところ、この借りかえによりまして、年利率0.141%、年利息約22万5,000円となり、約312万円の町の負担軽減を図りました。2年間の借り入れですので、支払利息の総額は670万円から45万円に、町の負担軽減額は合計625万円となります。

公社の保有土地につきましては、町が策定した処分計画に基づく町の買い戻しにより、平成35年度までには全ての土地が処分されることとなっております。今後この処分時期を早めることも視野に、土地の買い戻しを進めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

飯田進君。

○6番（飯田 進君） ただいまの答弁で、平成35年度までに全ての土地処分を計画しているとのことですが、その計画予定というのはいつごろ策定されたものなのか。また、この処分時期を早めることも視野に入れて処分を進めていくということですが、町の財政状況も、先ほど話したとおり大分好転しているという中で、やはりこれも早まる可能性が大変強いのではないかと私は理解しますが、その辺はいかがでしょうか。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

総務部長。

○総務部長（佐藤友久君） それでは、飯田議員の再質問にお答えいたします。

処分計画につきましては、平成19年に議会への報告も経て策定し、平成22年度に一部変更しております。処分計画では、平成27年度から平成35年度までに5回に分けて買い戻すこととし、平成27年度には伏木の565平米を1,390万円で買い戻したところでございます。さきの答弁でもありましたとおり、町の財政再建が進んでおりますことから、平成35年度までの買い戻しを早めることを視野に、時期についても今後の検討となりますが、着実な買い戻しを進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

飯田進君。

○6番（飯田 進君） ご答弁ありがとうございました。

土地開発公社につきましても、経営の改善が着実に行われていることと理解いたしました。今後とも引き続き改善に取り組み、ひいては町の財政健全化にも結びつけていただければと期待いたします。

以上で質問を……町長、何かございますか。

○議長（倉持 功君） それでは、町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、飯田議員さんの何かないですかということでしたので、経緯を少しご説明させていただくと、皆さんも委員になられている方がいらっしやると

思うので、開発公社は解散して、その後土地公社が残っていて、この利子補給だけでもしていくということで、買い取り計画はあったのだけれども、それを本当に買っていくというのもなかなか大変だというのはご承知だと思います。そういった中で、この利子補給についても、とにかく高いお金を払っていたものですから、何とかならないかといって、もう2年半やってまいりました。

そうしたら、ようやく今回は、いつもは1社、1金融機関しかできないという話でしたよね。最初僕が交渉したときもそうでした。ところが、例のマイナス金利の政策とか、そういったことが入ることによって、今回見積もりをとったら、結構多くの金融機関さんから上げていただきまして、その中で入札みたいな形で1社、1行ですね、決まったわけでありすけれども、本当に今回0.141ということではほとんど、逆に0.141で借りて、うちで貸してしまおうかと思うぐらいの利率であるというふうには思っていますので、非常に本当に銀行さんには改めて感謝を申し上げたいなというふうに思っております。

そして、買いかえについても、いつも財政の課長からは「ことし、どうします。買いますか」というのを毎年やってきたのですけれども、先ほど飯田議員が言ったとおり、随分改善してきたので、悩むことなく、ちゃんと買いかえ計画どおりに買って、買い戻していきましょうということが今できるようになってきたのかなというふうに思っておりますので、今後残りの土地等についてもありますので、しっかりと、今後土地公社で持っている土地もそうですし、例えば町で持っている駐車場になっているところとかもありますよね、ああいうところも議会の皆さんとともに、どういうふうに活用したらいいとか、そういったことも今度は考えられるようになっていくのではないかなというふうに思っておりますので、議員の皆様方とともに、そういったところの活用方法、そして返済計画などもしっかりとやっていきたいなというふうに思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

飯田進君。

○6番（飯田 進君） こちらから質問すべきところを逆に町長よりご答弁いただきまして、ありがとうございました。なお一層、先ほど申しましたように、経営改善、財政改善のために尽力していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上で質問は終わらせていただきます。

○議長（倉持 功君） これで飯田進君の一般質問を終わります。